

進路指導部だより

令和8年2月27日 No. 5
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子
担当 屋森 光子

今号では、12月以降に実施した小学部、高等部の進路学習について、一部を紹介します。

小学部就業等体験（12月8日、12日） 小学部5年生対象

小学部5年生は、身近な働く人を知り、仕事についての興味・関心や、役割をもって生活することへの理解を深めるために就業等体験を行いました。

事前学習として、「教室の清掃」「洗濯干し」「シュレッダーを使った文書の裁断」等の仕事体験を行いました。洗濯物の良い香りを感じたり、クリップで止めて干せたことを褒められたりすると「仕事ができた！」と達成感に満ちた笑顔が見られました。「シュレッダーでの文書裁断」では、動画を見て仕事の方法を見聞きした後、教員と一緒に取り組みました。紙が無くなっていく様子や機械音に面白さを感じたようで一番人気の仕事でした。

就業等体験では、経営企画室の方が教室に来てくださり、仕事について話をしてくださいました。その後、経営企画室を訪問し、電話対応や防犯カメラの映像確認、シュレッダーでの文書裁断を体験しました。

また別の日には、栄養士さんや調理員さんに本校の給食や調理のお話を伺い、皆、興味津々でした。給食室の映像や大きな調理道具にも興味をもち、見たり触れたりしました。

体験後は、経営企画室の皆さんや栄養士さん調理員さんへ手作りのメモスタンドをお渡しし、「いつもありがとうございます」と日頃の感謝の気持ちを伝えました。職員の皆さんから「ありがとう」とプレゼントへの感謝を伝えられ、児童たちも嬉しそうでした。

事後学習では、それぞれに役割があることを意識しながら、再び「シュレッダーを使った文書の裁断」や「清掃」などの活動に取り組み、学習を振り返りました。今回の学習をとおして、人の役に立つ経験や、自分のために働いてくださる方々に感謝の気持ちをもつ機会となりました。



高等部進路報告会（2月16日） 高等部全グループ 中学部BCグループ対象

高等部2年生は、2～3学期に実施した現場実習の成果や課題について報告しました。実習報告会は、発表原稿やスライドの作成、発表練習を行う中で、現場実習を振り返り、どのような会社や施設が自分に合っているのか、希望する進路へ向けての自身の課題に気付き、その解決へ向けてどのように取り組むかを担任と共に考える学習です。

発表生徒は、「初めての人とも挨拶ができるようにする。」「初めての人ともコミュニケーションをとる」「一人でも休み時間が過ごせるように好きなことを増やす」「視線や声、サインなどで気持ちを伝えられるようにする」「丁寧な言葉遣いを心掛ける」「準備や片付けなどできることは自分で行う」「時間を守る」「ペース配分を考えて仕事をやる」など、現場実習の評価から気付いた今後の目標について発表しました。

参加した中学部や高等部の生徒からは、実習時に必要な物品や通勤・通所方法について質問が出されました。発表を聞いて、現場実習の実際を知り、理解を深めるとともに、自身の進路や希望を実現するために、どのような準備が必要かを意識する機会となりました。

